

事業概要シート

施策： 地域包括ケアシステムの推進体制の確立

《 》は、29年度の当初予算

事業名： 認知症高齢者見守り事業	拡充	予算額	1,883 千円
			《 709 》
財源内訳		国庫支出金	723 千円
		県支出金	361 千円
		地方債	千円
		その他	4 千円
		一般財源	795 千円

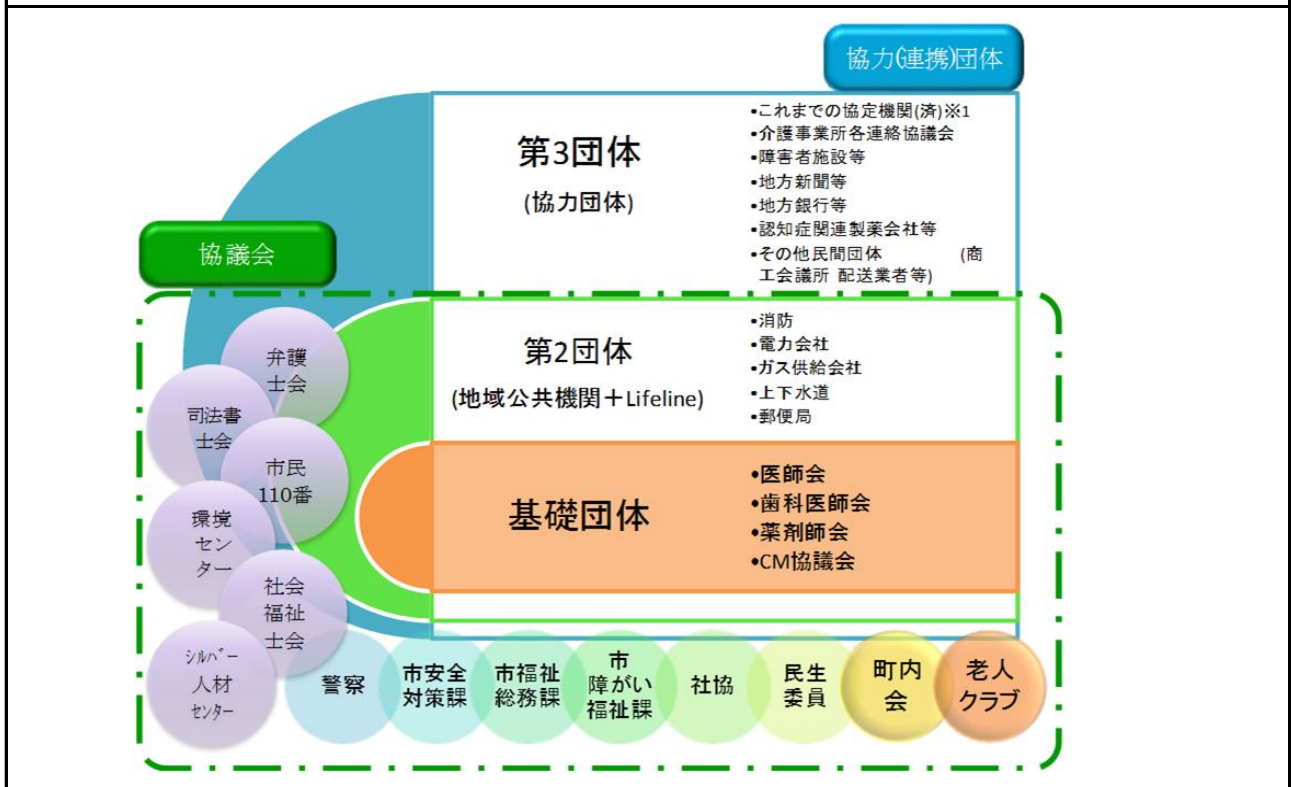
【事業の目的・概要・対象】

【事業の目的】

高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活できるまちづくりを実現するため、高齢者等の安否確認（認知症による徘徊を含む）及び異変の早期発見並びに早期対応に関する諸活動を推進する。認知症になったとしても、その人の尊厳が社会で保たれ、住み慣れた地域で、安心して暮らしていける環境を構築する。

【事業の概要】

- 徘徊の兆候がある認知症高齢者にGPS発信機を所持させ、行方不明時に民間の位置検索システムを利用した捜索活動を行う。
- 医療機関、警察、その他の関係機関と連携し、高齢者見守り支援（認知症による徘徊を含む）を行うためのネットワークの構築を図る。また、高齢者等における権利擁護の促進に係る基本計画を策定するため担当会を設置する。



【背景】

高齢化の進展に伴い、独居高齢者の孤立死や、高齢者のみ世帯や認知症高齢者の増加に伴う虐待や徘徊による行方不明や事故など、高齢者の生命に直接関わる問題も発生している。このため、日頃からの安否確認や防犯・防災、徘徊時の捜索活動等、地域や医療・介護・民間団体が連携した見守りネットワークの構築を図る事が必要なためです。

担当課	福祉保健部長寿介護課	問合せ先	0957-53-8141 (内線205)
-----	------------	------	----------------------

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	高齢者等見守りネットワーク協議会開催数	目標値 回	0	4	4	4	4
②		目標値					

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	累計徘徊SOS登録者数	目標値 人	21	35	45	55	65
②		目標値					

【予算・決算】

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	合計
事業費	2,457	289	447	709	1,883	1,883	7,668
国庫支出金	967	113	174	277	723	723	2,977
県支出金	483	56	87	138	361	361	1,486
地方債							0
その他	701	84			4	4	793
一般財源	306	36	186	294	795	795	2,412
人件費	5,382	2,074	2,538	4,578	4,435	4,435	23,442
職員	0.70人	0.22人	0.28人	0.58人	0.58人	0.58人	2.94人
時間外勤務	46h	76h	66h	180h	180h	180h	728h
嘱託員							0.00人
フルコスト	7,839	2,363	2,985	5,287	6,318	6,318	31,110

妥当性 (市の関与)	地域包括ケアシステムの構築は、それぞれの地域の実情に応じて市町村が実施するまちづくりである。高齢者を見守る地域づくりは、各団体等と協力しながら市が中心となって実施すべき事業である。
有効性 (施策貢献度)	少子高齢化が進む中、住み慣れた地域で暮らせる環境づくりが必要であり、認知症高齢者見守りを進めていくことで認知症高齢者に限らず、高齢者の安否確認の整備が図られ、地域包括ケアシステムの構築の実現に近づくこととなる。
効率性 (コスト)	見守り体制整備の体制強化のため、コスト見直しは図れない。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり